

家庭科学習指導案(本時案) 5 学年

単元名『ミシン縫いにチャレンジ』

1 本時の位置 (全 12 時間扱い中の第 3 時)

前時：ミシン縫いの特徴を理解するためにミシンの安全な使い方の確認や手縫いとの比較をし、から縫いをした。

次時：計画を立てて製作を始める。

2 本時の主眼

ミシン縫いの特徴を知り自分もミシン縫いをしてみたいと願う子供たちが、糸を使ったミシンの使い方を学ぶ場面で、動画や先生の見本を見てその手順を追って、ペアとお互い見合いながらミシン縫いの準備をすることを通して、ミシンの準備が手順通りできる。

3 指導上の留意点

- ・怪我する人が出てしまわないように緊張感のある教室を心がけること。
- ・ミシンの注意点を掲示物でまとめる。

4 本時の展開

階層	学習活動	予想される児童の反応	欄	指導・援助と評価
導入	1 前時に学習したミシン縫いの特徴を確認する。また、ミシンを使う時のルールを決める。	・ミシン縫いにはこんな特徴があったよ。 ・次はから縫いじゃなくてちゃんと使ってみよう！ ・今回から何を作るの？ ・そのルール前回先生がやったやつじゃん。	5	「ミシンにチャレンジしたい？じゃあそのためにはどんなことができなきゃいけないかな？」 ○ミシンで縫うときの危険が理解できるよう例を挙げながら言葉がけをする。 ○ミシンを安全に使うことができるようにルール決めをする。
	学習問題:糸を使ったミシンの使い方を学ぼう。			
展開	2 ミシンの安全な使い方を考える	・わかるけど完璧じゃない。 ・順番はミシンに書いてあったよ。 ・準備の仕方はわからないな。 ・危ないからちゃんと聞いてよ。	5	「どうやったらミシンの準備の仕方、使い方が完璧にわかる人いる？」 ○危険なく活動ができるよう適宜ルールを振り返る。
	学習課題:動画や先生の見本を見て手順を追ってやってみればよさそうだ。			
開	3 動画を見て手順を知り、先生の演示実践をみながら動画の内容を復習する。	・こんな順番なんだね。 ・先生！次はこうだよ！ ・おれもやってみたい！ ・準備できたら縫うの？	10	○先生の演示実践を全員が見ることができるようカメラで映して動きを提示する。 「後ろの人で見えにくい人は前においで」 ○演示実践の糸が見やすいように使用する糸の色を黒にする。
	4 ペアと見合いながら実際にミシンの準備をする。	・ねえそれやり方違うよ。 ・教科書見ていいの？ ・なんでこんなに複雑なんだろう。 ・めんどくさいね。 ・先生縫っていい？	15	○手順に詰まった時にいつでも確認できるよう教科書を開くように指示する。 ○自分のできないところに気付くことができるようにチェックシートを用いてペアと確認できるようにする。 評価：ミシンの準備が手順通りできている。 評価の方法:授業中の実践の内容、チェックシート
	5 後片付けをして本時の追究を振り返る。	・今度からミシンで何か作るの？ ・怪我しないようにこれからも気をつけなきゃね。	10	○次回以降の製作に意欲を見出せるように振り返りに今日分かったこと、考えたことを書くよう指示する。
末				

平成 30 年 9 月 6(木) 第 3 校時

授業会場 家庭科室

5 年西組 男子 17 名 女子 14 名 計 31 名

指導教官

授業者